



# 駅前大型商業施設駐車場を有効利用した パーク・アンド・ライド(大阪府域)の社会実験を実施

—— 10月よりスタート ——

建設省が公募していた平成11年度社会実験に、大阪府下の駅前大型商業施設の駐車場を有効利用したパークアンドライドが、採択されました。社会実験は、今年度から建設省が実施するもので、全国で14カ所の応募があり、そのうち6カ所が採択されました。

大阪都市圏においてパークアンドライドを実施する場合、駅周辺に用地確保し、駐車場を整理するには多額の費用と時間を要することが課題となっていました。

今回実施するパークアンドライドは、平日に空いている駅前大型商業施設の駐車場を有効利用しようとするもので、新たな用地確保や施設整備の必要がありません。

本件のように、5カ所もの駅前大型商業施設の駐車場を一斉に利用するパークアンドライドは全国でも初めてで、採算性やセキュリティ等の問題が無いことが確認できた場合、他地域への波及が考えられ、民間駐車場利用によるパークアンドライドの全国的な流れを生み出すことが期待されます。

また、京阪地域交通需要マネジメント研究会において、大阪府下におけるパークアンドライドの取り組みのPRを目的に統一ロゴマークを作成。今後、パークアンドライドの普及に向け広くPRを行っていきます。

## 社会実験の概要

○利用者募集：平成11年9月1日より社会実験を実施するスーパー等の店舗窓口で受付

※別紙 P & R 駐車場 利用者募集のご案内参照

○社会実験期間：平成11年10月1日～平成12年3月31日までの6ヶ月間

○社会実験主体：京阪地域交通需要マネジメント研究会

P & R 駐車場既存施設活用連絡会（仮称）

建設省近畿地方建設局、大阪府、イズミヤ（株）、（株）西武百貨店、ジャスコ（株）、（株）ダイエー、（株）マイカル  
からなる連絡調整組織を設立予定。

○実験実施店舗：大阪府内大手スーパーなどの5店舗駐車台数400台程度

イズミヤ松原店（近鉄河内松原駅）

ダイエー松原店（近鉄高見ノ里駅又は河内松原駅）

西武八尾店（近鉄八尾駅）

藤井寺サティ（近鉄藤井寺駅）

東岸和田サティ（JR阪和線東岸和田駅）

※別紙 実験対象店舗位置図参照

【解説】・交通需要マネジメント（TDM：Transportation（Travel） Demand Managment）

道路の混雑緩和と、それに伴う環境改善や経済の活性化を図るため、利用者に対し交通需要の削減や平準化を促す（交通行動の変更を促す）手法です。

・パークアンドライド（P & R）

マイカーを最寄り駅に駐車（パーク）し、電車に乗って（ライド）会社まで通勤する手法です。この手法により公共交通機関の利用を促し、都市内の交通渋滞の緩和を図るとともに、渋滞で長くなりしがちな通勤時間の短縮を目指すものです。



# おおさかパークアンドライド社会実験

## P & R 駐車場 利用者募集のご案内

- 実施期間：平成11年10月1日(金)～平成12年3月31日(金)
- 受付開始：平成11年9月1日(水)より
- 対象：現在マイカーで通勤されている方で、今回P & R駐車場から電車やバスを利用する方。
- その他：車庫証明は発行できません。

**近鉄南大阪線 高見の原駅より徒歩5分 河内松原駅より徒歩10分**  
**ダイエー松原店駐車場**

■P & R駐車場場所：ダイエー松原店南側平面駐車場  
 ■募集台数：113台(先着順受付)  
 ■利用料金：①月～金曜日利用可 7,000円/月(税込み)  
 ②全曜日利用可 9,000円/月(税込み)  
 ■利用時間：6:00～24:30

■申込受付：  
 ダイエー松原店(1F)  
 サービスコーナー  
 ☎0723-34-1581

**近鉄南大阪線 河内松原駅**  
**イズミヤ松原店駐車場**

■P & R駐車場場所：イズミヤ松原店立体駐車場(最上階)  
 ■募集台数：117台(先着順受付)  
 ■利用料金：月～金曜日利用可 7,000円/月(税込み)  
 ■利用時間：6:30～22:00。但し土・日祝日、年末年始は利用不可

■申込受付：  
 イズミヤ松原店(1F)  
 食品サービスコーナー  
 ☎0723-32-2251

**JR 東岸和田駅 東岸和田サティ駐車場**  
 より徒歩7分

■P & R駐車場場所：東岸和田サティ第1立体駐車場(最上階)  
 ■募集台数：100台(先着順受付)  
 ■利用料金：月～金曜日利用可 8,000円/月(税込み)  
 ■利用時間：7:00～24:30。但し土・日祝日、年末年始は利用不可

■申込受付：  
 東岸和田サティ店(2F)  
 サービスコーナー  
 ☎0724-38-2301

**近鉄大阪線 八尾駅 西武八尾店駐車場**  
 より徒歩5分

■P & R駐車場場所：西武八尾店平面駐車場  
 ■募集台数：20台(先着順受付)  
 ■利用料金：月～金曜日利用可 15,000円/月(税込み)  
 ■利用時間：7:00～22:00。但し土・日祝日、年末年始は利用不可

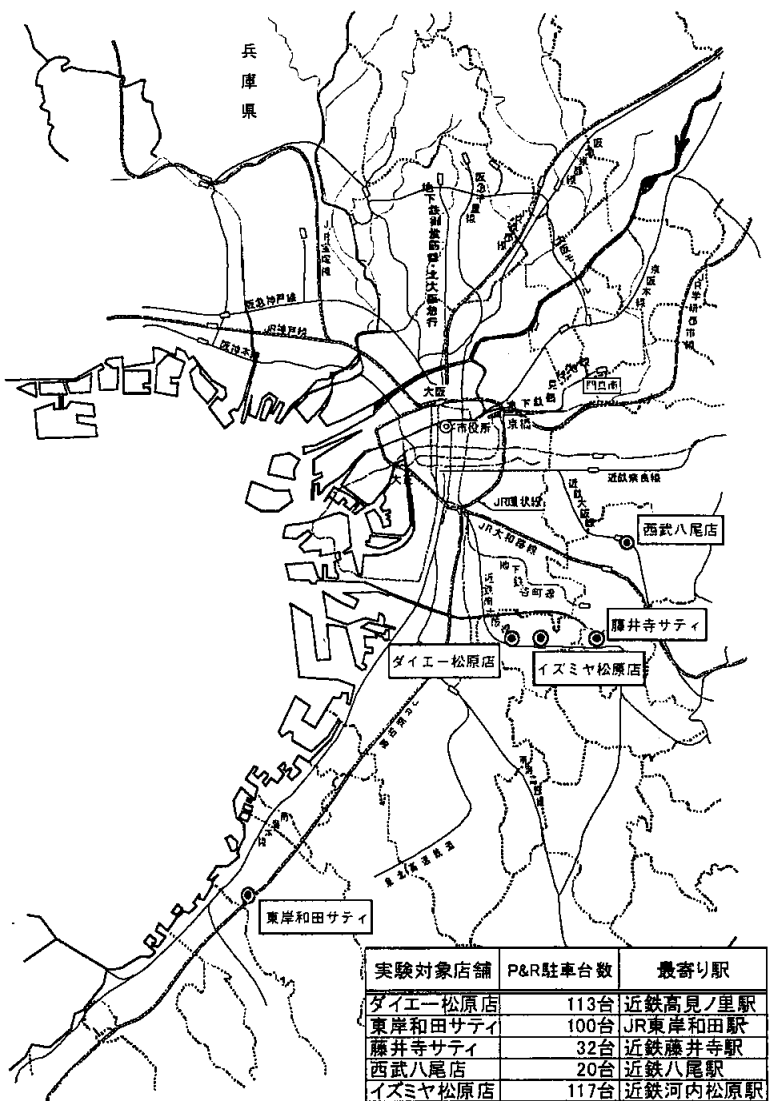
■申込受付：  
 西武八尾店(7F)  
 総務人事課  
 ☎0729-95-5320

**近鉄南大阪線 藤井寺駅 藤井寺サティ北側立体駐車場(最上階)**  
 より徒歩5分

■P & R駐車場場所：藤井寺サティ北側立体駐車場(最上階)  
 ■募集台数：32台(先着順受付)  
 ■利用料金：月～金曜日利用可 9,000円/月(税込み)  
 ■利用時間：7:00～24:30。但し土・日祝日、年末年始は利用不可  
 ■申込受付：藤井寺サティ店(本館3F) サービスコーナー  
 ☎0729-54-1151

**【藤井寺サティ駐車場付近図】**

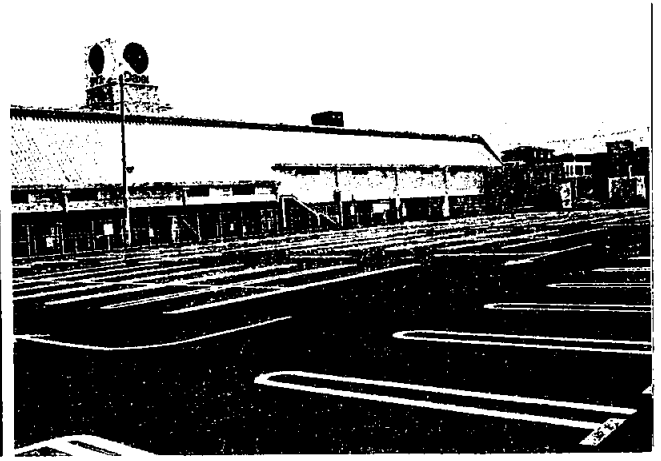
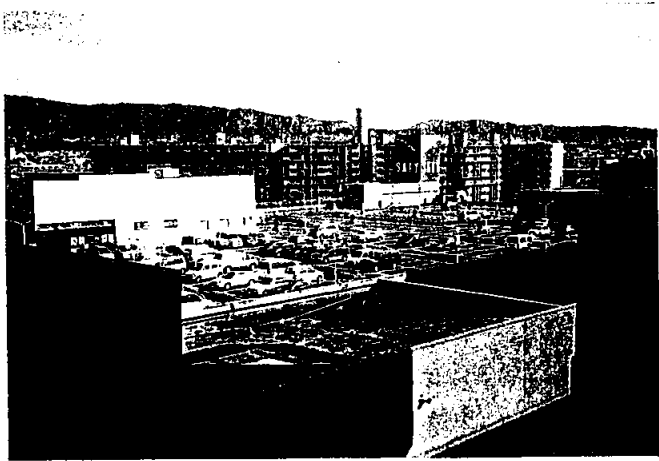
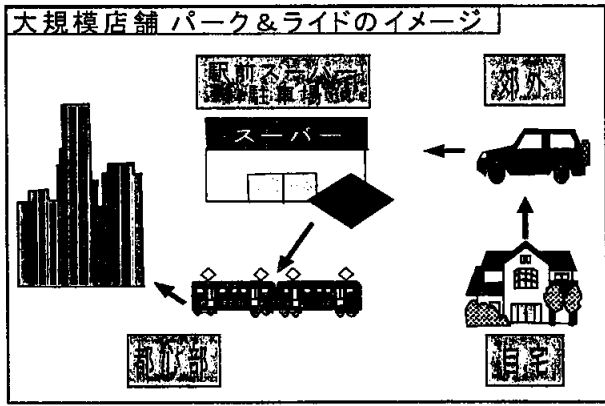
□大阪府内（市内除く）において、最寄り駅より概ね半径 400m 以内で駐車場収容台数 200 台以上の駐車場を持つ大型商業施設は、65 店舗あり、約42,000台の駐車容量があります。その内、大手スーパー5社（ダイエー、マイカル、ジャスコ、イズミヤ、西武）で6割（約25,000台）を占め、スーパーからのヒアリングにより、平日の空き台数は3割（約7,500台）と推定できます。今後、その内大手スーパー等5社の5店舗を実験対象としています。



実験対象店舗	P&R駐車台数	最寄り駅
ダイエー松原店	113台	近鉄高見ノ里駅
東岸和田サティ	100台	JR東岸和田駅
藤井寺サティ	32台	近鉄藤井寺駅
西武八尾店	20台	近鉄八尾駅
イズミヤ松原店	117台	近鉄河内松原駅

図. 実験対象店舗位置図

□駅前大型商業施設の既存駐車場は、休日の必要駐車容量に基づき計画されており、平日は空いている状況です。また、商業施設としても、負担の大きい駐車場の有効活用が迫られています。そこで、駅前商業施設の駐車場をP&R駐車場として活用します。



車がないと困るけど、  
大阪の交通事情は深刻やねん。

慢性的な交通渋滞、交通事故、  
騒音、大気汚染、地球環境への影響…

# どないすんねん 大阪の渋滞

一人ひとりが車の使い方を  
ちよつと工夫するだけで、  
大きな改善につながるねん。

いろいろ考えたり、  
実験したりして…

大好きな大阪のこと、  
いっしょに、ホンマに考えヨ!



## パークアンドライド



マイカー通勤の皆さまへ

# パークアンドライドしてみませんか!

おおさかパークアンドライド社会実験

## P&R 駐車場

# 利用者募集

パークアンドライドとは、自宅から寄り駅までマイカーを使い、  
P&R駐車場に駐車(=パーク)し、電車やバスに乗り換えて(=ライド)  
勤務先まで通勤するシステムです。

●くわしくは裏面をご覧ください

●お問い合わせはお気軽に

☎0720-33-0261/

京阪地域交通需要マネジメント研究会  
(事務局:建設省浪速国道工事事務所内)

☎06-6944-6779/

大阪府交通政策室  
(駐車場推進係・交通計画係)

建設省ホームページ <http://www.haniwa.kk.moc.go.jp/p&r> 大阪府ホームページ <http://www.pref.osaka.jp/osaka-pref/kotsuseisaku/index.htm>

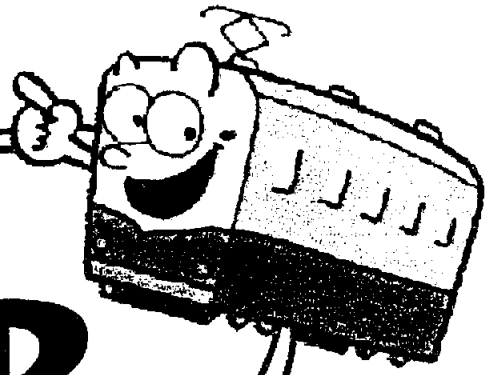
ちよつとの工夫で渋滞緩和



ちよつとの工夫で渋滞緩和



OSAKA  
**P&R**  
パークアンドライド  
社会実験

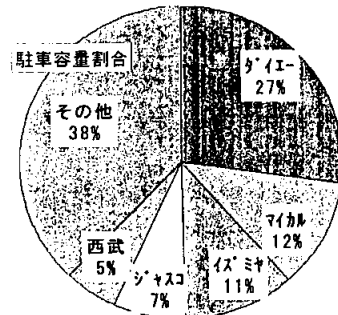


## 商業施設駐車場を有効利用したP&R社会実験

～大阪都心部の渋滞緩和と環境負荷の軽減に向けて～

### 1. 背景

- 大阪都市圏において、駅周辺の用地を確保してP&R駐車場を整備することは、多額の費用と時間を要するのが現状である。
- 大阪府により、都心から10～15km圏内に16箇所のP&R駐車場を整備する基本計画が昭和55年にまとめられているが、一部江坂駅で整備されたのみで計画は進んでいない。
- 駅前大型商業施設の既存駐車場は、休日の必要容量に基づき配置されており、平日は比較的空いている。
- 大阪府内(市内除く)において、最寄り駅より概ね半径400m以内で駐車場収容台数200台以上の駐車場を持つ大型商業施設は、65店舗あり約42,000台の駐車容量がある。
- そのうち大手スーパー等5社(ダイエー、マイカル、ジャスコ、イズミヤ、西武)で、駐車容量が約6割を占め、スーパーからのヒアリングにより、平日の空き台数は約7,500台と推定できる。



### 2. 基本方針

官民一体となったP&Rシステムへの取り組み

### 3. 社会実験の目的

- 大阪都心部への通勤者を対象とする駅周辺の大型商業施設駐車場を活用したP&Rシステムを推進することで、通勤時間帯をピークとする交通渋滞の緩和・解消を図る。
- 駅周辺の他の施設についてもP&Rシステムの理解を深め、P&R駐車場の拡大を図る。
- 自家用車から公共交通機関に乗り換えを促進することで、自動車交通量を減少させるとともに、CO<sub>2</sub>をはじめとする温室効果ガスの削減を図る。
- P&Rシステムを実施することにより、一般市民の方々に幅広くTDM施策のPR活動を行うとともに、車利用者への交通問題に対する意識改善を図る。

## 4. 社会実験の概要

駅前に既存駐車場を多く所有している大手スーパーと調整し、数カ所の店舗駐車場を対象として社会実験を行い、広域的なP&Rシステム推進に向けて、実験の評価や課題の整理を行う。

### 実験の内容

- 実験箇所：5箇所（大手スーパー等より駐車場の提供）
- 実験規模：計400台程度
- 実験期間：平成11年10月1日～平成12年3月31日までの6ヶ月間
- 実施主体：京阪地域交通需要マネジメント研究会及びP&R駐車場既存施設活用連絡会（仮称）  
※P&R駐車場既存施設活用連絡会  
建設省近畿地方建設局、大阪府、イズミヤ、西武百貨店、ジャスコ、ダイエー、マイカルからなる連絡調整組織を設立予定。

### 実験のポイント

- P&R駐車場の管理運営方法
- 継続実施が可能な採算性の確保
- 来店客、周辺民間駐車場等に与える影響

## 5. 社会実験の効果

- 車利用者の公共交通機関への転換による渋滞緩和と環境改善
- 民間活力による自発的なP&Rシステムの全国的な推進・波及
- 大阪都市圏全域へのTDM施策のPR・啓蒙



平成11年8月6日

建設省 道路局

## 社会実験実施地域の公表について

## 記者発表資料

- 建設省では平成11年度より、道路に関する施策について「社会的に大きな影響を与える可能性が高い新しい施策の導入に先立ち、場所と期間を限定して施策を試行するとともに、試行結果の評価を行い、施策を本格的に導入するか否かの判断材料を得る」社会実験を実施することとし、公募により広く実施地域を募りました。
- 公募は平成11年3月19日～平成11年4月19日に行われ全国14地域から応募があり、うち13地域（1地域は応募後辞退）が去る平成11年5月19日に開催された「社会実験の推進に関する懇談会（座長：高橋教授 東京商船大学教授）」で吟味され各地域への実験計画に対する改善助言、実験の進め方に対する助言がなされました。（別紙-2）
- 懇談会での評価や指摘事項に対する改善状況等をふまえ、建設省では平成11年度の社会実験実施地域として全6地域（東京都世田谷区、神奈川県海老名市、神奈川県鎌倉市、愛知県豊田市、大阪府、島根県松江市）を選定し、支援していくこととなりました。（別紙-1）
- 選定にあたっては、応募要件として示した施策の新規性・先進性、実施に到った場合の有効性、展開性、実験の実施に関わる環境の整備状況（地元の体制の熟度）、実験計画の熟度などの視点で選定することとしました。（別紙-3）
- 今回選定を見送りになった地域については、選定の視点上先進性・新規性を認められるものが多かったが、実験計画の熟度において課題が残されており、引き続き検討を進め、関係団体等と調整し、課題解決に向けた継続的な取組みを期待するものとなりました。
- なお、本年度見送りになった地域についても十分に検討を進めることにより次年度以降に実施予定の社会実験の公募に応募することが可能です。

## 問い合わせ先

建設省 道路局 地方道課 市町村道室

課長補佐 岩見 吉輝

TEL 03-3580-4311

(内線 3774)

(直通 03-5251-1966)

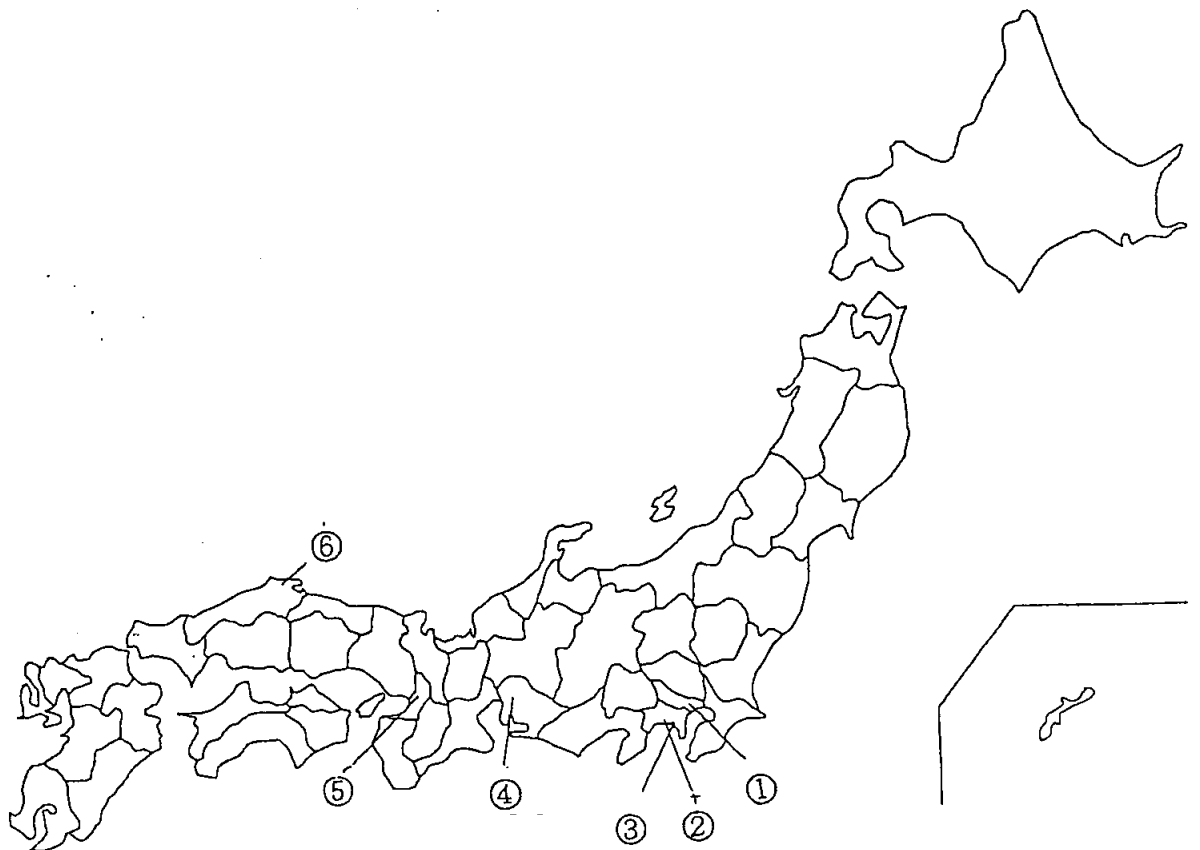
<http://www.moc.go.jp/road/demopro/index.htm>

## 別紙-1 平成11年度 社会実験実施地域の選定地域一覧

No.	実施地域	内 容
1	東京都世田谷区	区内京王線・小田急線間の地域へのミニバス運行による交通利用の転換誘導
2	神奈川県海老名市	電気自動車を用いた車輛共有化（複数人間が通勤用・業務用に一台の車を使うシステム）したパークアンドレールライド
3	神奈川県鎌倉市	休日交通の集中する観光都市におけるパークアンドライドをはじめとしたマイカー転換誘導施策
4	愛知県豊田市	低公害車を用いた車輛共有化（複数人間が通勤用・業務用に一台の車を使うシステム）、カープール（複数人間が1台の車に相乗りし通勤）等の実施
5	大阪府	複数大手スーパー等駐車場（計約400台規模）を活用した通勤自動車の鉄道転換（パークアンドレールライド）
6	島根県松江市	松江城下中心市街地での車線数削減による歩行幅員拡大

注1) 番号は下図の位置に対応

注2) 各実験概要については、別紙4に記載



## 別紙－2 平成11年度 社会実験実施地域の選定経緯

社会実験の実施地域の選定は次段階で実施しました。

選定にあたっては、「社会実験の推進に関する懇談会（座長：東京商船大学高橋教授）」での助言を受け、一度応募団体に課題などを明示した上で再度修正した実験計画の提出を受け、選定を行いました。

期 日	内 容	備 考
平成11年3月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公募要領公表</li> <li>・公募開始</li> </ul>	
↓		
平成11年4月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公募締め切り</li> </ul>	
↓		
平成11年5月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会実験の推進に関する懇談会開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験計画への改善助言など</li> </ul>
↓		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・応募団体へのフィードバック</li> <li>・改定実験計画案の受諾</li> <li>・選定地域検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・懇談会からの助言を踏まえた応募内容の改訂。</li> <li>・改訂案の再度受付</li> <li>・選定地域検討</li> </ul>
↓		
8月6日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選定地域発表</li> </ul>	(今回発表)

## 別紙－3 平成11年度 社会実験実施地域

### 選定の考え方

次の考え方で社会実験の実施地域の選定を行いました。

#### 1. 新規性、先進性

<例>

取組みに新規性・先進性が認められるもの。

#### 2. 施策の有効性、展開性

<例>

応募要件に提示した道路に関わる5つのテーマについて、実験する施策が当該地域において有効であるか、また実施に至った場合に他の地域へ展開性があるかどうか。

#### 3. 実験が可能となる地域環境の整備状況

<例>

実験に関わる諸団体の協力・準備体制や実験実施地域の住民、企業の実験実施へのある程度の合意形成状況、さらに社会実験を支える地元組織の存在など。

#### 4. 実験成果が施策の本格実施に大きく関連するか（実験の成果が上がるだけの計画熟度があるか。）

（実験結果が良ければ本格実施、または小規模実施など本格実施に向けた明確なステップアップが見込まれるくらい実験計画に熟度がある。）

<例>

実験実施期間や、実験実施時の規模（実施想定区間と相当など）、また実験を評価するための各種調査など

## 別紙-4 社会実験実施地域一覧

地域	対象施策	実験概要
東京都世田谷区	ミニバスによる交通利用の 転換誘導	【実験期間】延べ4ヶ月 ミニバス（借り上げ）し、路線運行、自動車 からの転換等を実験的に実施 ○提案2路線 ・京王線 千歳烏山駅～小田急線 成城学 園前駅 ・京王線 桜上水駅～希望ヶ丘地区
神奈川県海老名市	電気自動車を用いた車輛共有 化、パークアンドライド  電気自動車を用いた通勤 者、業務対応車輛共有化と パーク&ライドの融合施策 導入を目指した実験 (国内初の実験)	【実験期間】延べ90～150日間 一台の車を、事業所と市民が共有して使 い、朝・夕の通勤時間帯は市民が通勤用として、また日中は事業所が業務用として利用す るシステムについて実験を行う。実験には環 境への影響を配慮し、電気自動車（小型のも の）の利用を予定。
神奈川県鎌倉市	複合パークアンドライド  ①パーク&ライド（R,BR） と環境手形（地域内公共交 通フリーキップ） ②改良歩行者優先道路 等	【実験期間】約1ヶ月（延べ10日間） ○パーク&バスライド（2箇所） パーク&レールライド（1箇所） ○環境手形：地域内のバスなどのフリー乗車 券、協賛店舗の特典や寺社拝観料の割引付き ○歩行者尊重道路：交通規制や移動式ブラン ター、ハンプなどを用いて車両の走行を抑制
愛知県豊田市	低公害車を用いた車輛共有 化、カープール等 (国内初の実験)	【実験期間】延べ60日 低公害車を用いた車輛共有化実験（カープ ール含む）等 ○カープール実験：複数の通勤者が1台の自 動車（低公害車）に同乗し通勤する実験。 ○車輛共有化実験：業務用として、複数の事 業所が共同で同じ自動車を利用し、車両の効 率化を図る。
大阪府	拡大パークアンドライド	【実験期間】延べ180日 既存施設活用パーク&ライド 大手スーパー等5社協力のもと、鉄道駅近 接店舗駐車場（計400台程度）を対象として P&R実験を実施。
島根県松江市	ボンエルフ  中心市街地商店街へのボン エルフ導入	【実験期間】延べ35日間 商店街のメインストリートへ擬木、プラン ターなどの仮設ユニットを配置し、1車線 化、一方通行化、歩道拡張を仮設的に創出す る一連の実験。民地を借り上げての共同荷捌 き実験も併せて実施。

## 別紙一5 社会実験の推進に関する懇談会

### 委員名簿

氏名	所属	役職
座長 高橋洋二	東京商船大学 商船学部	教授
根本敏則	一橋大学 商学部	教授
森野美德	日本経済新聞社	記者
小島光治	Uエンタープライズ (株)	代表取締役
世古一穂	NPO研修・情報センター	代表
政所利子	(株) 玄	代表取締役